

春日井市民の皆様

平成20年9月19日

春日井市政ウォッチング・市民会議

共同代表

春日井市東野町	池田修平
春日井市高座台	田代政弘
春日井市柏井町	林 秀治
春日井市岩成台	藤江美弥子
春日井市篠木町	堀尾文男

春日井市・市議会議員への「公開質問状」の回答について(ご報告)

私たち、春日井市政ウォッチング・市民会議は、去る8月22日に、市議会議員全員の皆様に、「市の財政、議員の定数や報酬、市の課題、議会活動」などに関する「公開質問状」を送付し、9月初までの回答を求めておりましたが、全ての議員から回答はありませんでした。

私たちは、このことを、先ずとても残念に思います。

私たちは、昨年来、ほぼ全ての議会(本会議及び委員会)の傍聴をしてまいりました。

又、同時に、行政事業へのいくつかの「提案」もしてまいりました。

そうした中で、議会の役割の重要性を感じるがゆえに、今回、「公開質問」という形で、議員の皆様のご意見やご判断等を伺いました。

市民有志として、市民が日ごろ感じている、素朴な疑問や問題についてお聞きしたわけですが、何の回答も示されないというのは、どういうことなのでしょう か ？

議員個人の判断からなののでしょうか？

或いは、会派の協議の結果なののでしょうか？

選挙で選ばれた議員の役割は、行政活動をチェックすると共に、市民に対し積極的に市政の説明や報告を行うことではないのでしょうか ？

そうした観点からも、私たちは、今回の質問のように、簡単で且つ基本的なものについて、選ばれた者としての見識から、より良き方向や対策などの示唆をも期待していただけに、正直言って失望させられました。

議会は、市政にとって、行政と共に「車の両輪」です。

活発な、開かれた議会活動は、市民にとって無くてはならないものです。

私たちは、今後とも、行政事業への積極的な提案や議会の傍聴等を含め、議員活動の内容もしっかり見てまいりたいと思います。

そして、それらを「市民の目線から」、広く市民の皆さんへお伝え(ホームページ等)していく中で、市民の「行政と議会への関心」が高まることを願い、活動をしていくつもりで

す。

なお、今回、文書での回答ではなかったのですが、

- 1, 自由クラブの野田代表が連絡窓口(田代)を訪問され(口頭で)、会派で話し合った結果、イ、回答の中味がそれぞれに違っていると、会派としてどうなっとるんだ、ということになり、出せない。
ロ、会派としても、まとまったものは出せない。
とのことでした。
- 2, フォーラム50(中藤議員)のブログ(8/下旬)に「何のための質問書がよくわからなかったので回答しなかった。今回の目的について、読み直したがよくわからない。ほとんどの委員会、本会議を傍聴した上で今回の質問状が出てくるということは、よっぽど議会は信用されていないらしい。市民目線とはいわれるが、生活者としての視点は弱いように感じる。そうか「春日井市政のウォッチング」そのものが目的か」
とのコメントがありました。

以上、報告いたします。

※ また、

9/18(木)、市政ウォッチング・市民会議は、上記の内容について、市政記者クラブに報告と説明を行いました。

[市政ウォッチング・市民会議メンバーのコメント]

◎ 春日井市議会議員が、公開質問状に対して無回答 ◎

春日井市政ウォッチング市民会議は、春日井市の財政状況や問題点について、36名の市議会議員達に、公開質問状を提出した。会派としても個人としても具体的な返答は、無い。出せないのか、出さないのか。質問内容は、市民として極めて当然な疑問である。個人としては、回答したいが、会派で出さないように！と指示されているという議員も居られる。

大事なのは、春日井市の財政再建であり、無駄を無くす事である。市民の皆さんに疑問点・問題点を、数字を示しながら冷静に訴える必要を心底思う。借金返済という重荷を自分達や子供達、孫達に残してはならない。 (共同代表:堀尾文男)

◎ 期待しても無駄だと思いながら期待した私がアホなんでしょう。◎

議員のレベルは、選んだ市民のレベルの反映でありますので、自戒するしかありません。

だからこそ私たちは自己および相互啓発のもと、1年有余素朴な市民感覚で行政と議会の活動を視てきました。

そしてその過程でわいた基本的な疑問についての問いかけでしたのに、公式には完全に無視されました。

私たちは無視されても、私たちはあなたたちを決して無視しません。

私は市民派と言われる或る議員を二度にわたって支持してきましたが、松河戸問題で推進派に寝返った事、今回の質問に応えられず、自身のブログで私たちを誹謗されましたので、今後は反支持者に変心します。(共同代表・林秀治)

◎ 心ある議員が一人もいなかったことに失望 ◎

回答を拒否するのであれば、その旨記して返送すれば済むこと。返信用切手貼付の封筒を同封してあるのだから、そう難しいことではないと思う。それすら出来ないマナーの欠如に今更ながらあきれている。

それにしても、あれぐらいの質問内容で会派に拘束されるなんて情けないと思う。

これからも、しっかり市政(行政と議会)をウォッチングしていこうと思う。

(共同代表・池田修平)

◎ 開かれた議会(議員)からほど遠い現状を露呈 ! ◎

大方の市民が心配したり、関心をもったりしている、ごく簡単な「問い」に「無回答」という「回答」を示した議員たちの態度が、議会の現状を如実に現している。

行政の提案が100%可決される状態が、もう、何十年と続いている議会、何一つ「修正」すらしない議会、一つの条例も提案出来ない議会、これらが現状なのに、「議会が信用されていないらしい」と思っている議員がまだいる議会(もう、これは、ブラックユーモアだ)。

議員の皆さんは、自信をもって(直接選挙で選ばれたのだから)、市民の疑問や質問に答えて欲しいものだ。

これだけ、市民との感覚がズレているのだから、私たち市民が、しっかり、市政(行政と議会)をウォッチし、「市民が主人公」の市政を創って行こう。

(共同代表・田代政弘)